

第4回大分市長寿応援バス事業のあり方検討会

日時：令和6年2月16日（金）14：00～
場所：大分市役所議会棟4階 全員協議会室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

議題 ICカード化に関するご意見と市としての望ましい方向性

3. その他

4. 閉 会

第4回大分市長寿応援バス事業のあり方検討会

議事資料

■ 議題

ICカード化に関するご意見と市としての望ましい方向性

(1) ICカード化に関する全体的なご意見とその他のご意見 1

(2) 各段階、項目ごとの手法等に関するご意見と
市としての望ましい方向性 2

【参考】他都市の事例 4

※ (4) 補足情報の右上に人口、対象者数、交付率等を追加

ICカード化に関する全体的なご意見とその他のご意見

ICカード化に関する全体的なご意見

- ① 小銭を準備しなくて良いのでICカードが良い。
- ② 大分では車利用が多く、バスに乗るのは年に数回という人は、現金払いにそれほど抵抗がなく、ICカード利用にメリットを感じにくいのではないか。
- ③ ICカードを使ってバスに乗って楽しい思いをする、いろんな情報を収集できる、文化的な生活もできる、というようなことにつなげていけると思う。
- ④ 高齢者としては利便性が一番大切なことなので、市からアンケート調査を行ってはどうか。
- ⑤ 自分でチャージすることができ、慣れている世代には、もっと早くから割引になるということを告知しておいてはどうか。50代でもまだ制度を知らない人たちがいると思う。
- ⑥ 高齢になると色々な手続が面倒になってしまい、それなら申請しなくていい、となってしまっは何のことかわからない。
- ⑦ 移動の質（クオリティ・オブ・モビリティ）を上げるための手段の一つがICカードだと考える。
- ⑧ 全国的にICカード化が進んできていること、バス運転手の高齢化を考えるとICカード化は高齢者のみではなく社会全体の課題であると思う。交通政策全体としてICカード化の方向をできるだけ生活にフィットしていけるように考え、その中で高齢者施策にどのように反映するのかを考えることにより、汎用性の高い手法となるのではないかな。
- ⑨ 長寿応援バスと障がい者割引とを併用する場合、自動的に安い方を判断して差し引かれるようなICカードになるのが理想。
- ⑩ 臼津交通にもICカードが使える車載器が導入されることを希望する。
- ⑪ ICカードの利用割合が増えることのメリットとして、車内での決済がスムーズになり、バスの乗降にかかる時間の短縮につながっている。
- ⑫ スムーズな乗降と利用データの取得のメリットが大きい。ダイヤの見直しを行う際にも役に立つ。

その他のご意見

- ① 高齢化が進む中で、高齢者が安価なバス料金で利用できて、外に出る機会を持てば健康寿命の延伸にもつながる。ただ、バスを利用したくてもできない人たちがいる。バスを利用したくてもできない人がどれだけいるかをニーズ調査しているのか。
- ② もっと多くの人に長寿応援バスで出かけてほしい。もっと使いやすい事業にして、高齢者自身の活性化はもちろん、市全体の活性化につながれば良い。
- ③ 交通と福祉は協力しなければならないと思う。2つの部局の交流や意見のマッチングができるようなプロジェクトは行っているのか。
- ④ ICカードはタクシーやふれあい交通では利用可能か。
- ⑤ 近所でバス利用される方も多くいるが、ノンステップでないバスでは乗り降りが難しい方もいる。
- ⑥ バス事業者からの説明で、ドライバーの高年齢化や人員不足など大変な状況を実感した。従来のルートや停留所にこだわらない、新しいバス運行スタイルについても今後考えていかないといけないのではないかな。
- ⑦ 普段バスに乗らない人は、郊外から中心部に行く時は良いが、中心部ではたくさん乗り場があり、どこから乗ったらよいかわかりづらいようなので、案内をわかりやすくしたり、案内する人を置いたりできないか。
- ⑧ バスに乗ってICカードをタッチする際に、残額の画面が見にくい。前もって残額を把握するのに、もう少し大きく見やすくできないか。
- ⑨ 夏休みに大分バスで子ども向けの乗り放題をしていたかと思うが、同じ時期に孫と一緒に乗り放題を実施すれば利用が増えるのではないかな。

各段階、項目ごとの手法等に関するご意見と市としての望ましい方向性

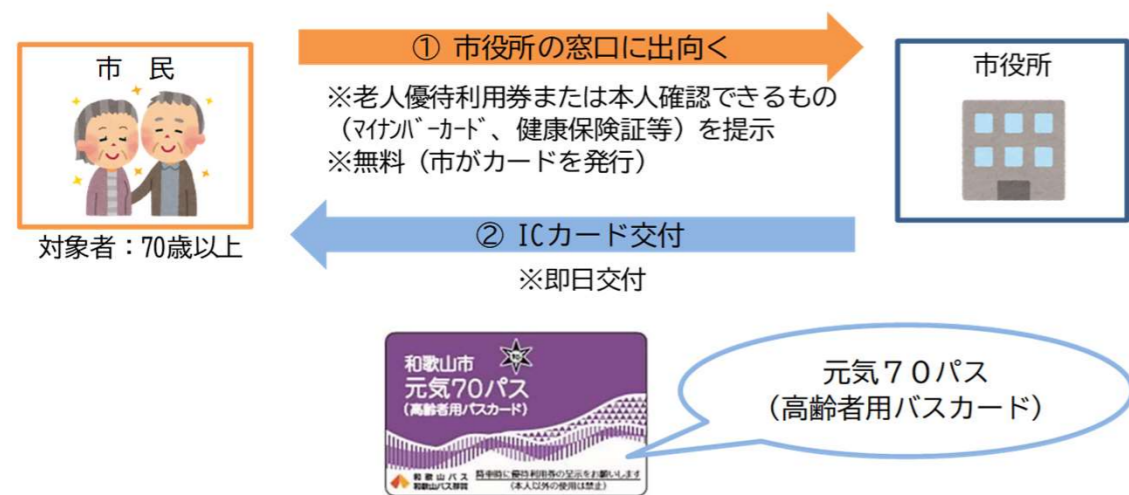
段階、項目	手法、パターン		都市名				検討会でのご意見	市としての望ましい方向性		
			和歌山	秋田	川崎	前橋				
1 事前 手続	(1) 手続方法 a + カードの 発行・受取 b	a	b					<ul style="list-style-type: none"> すべての手続が自宅できると良い。 ICカードの入手がより簡単な方が良い。 既に長寿応援バスを利用している人には市からICカードが郵送される方が楽ではないか。 オンライン手続は高齢者には難しい。 自分が歳を取ったときに、スマホ等による手続はできない気がする。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者に一定程度の負担をお願いしたい。 郵送等と併せて、オンライン手続も可能とする仕組みが望ましい。 既に乗車証を持っている人と今後新たに対象となる人の手続の方法を分けることも考えられる。 <p>※どのカードを採用するか等による 3(1)(2)関連</p>	
		①	窓口	市	○					
		②	郵送	バス事業者		○				
		③	郵送	市民			○			
	(2) カード発行（登録） 期間	①	即日、翌日	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 即日・翌日に発行される方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り短期間で済む仕組みが望ましい。 <p>※どの事前手続方法を採用するか等による 1(1)関連</p>	
		②	数週間				○			
	(3) マイナンバーカードの 活用	①	あり				○	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカードの活用は「あり」でも良い。 マイナンバーカードを活用するメリットは？（資格確認を自身で行うことができ、発行に係る期間の短縮につながる） 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者自らが手続できるようになることから、マイナンバーカードの活用を可能とする仕組みが望ましい。 	
		②	なし	○	○	○				
	(4) サポート体制	①	支援窓口				○	<ul style="list-style-type: none"> オンライン手続をするのであれば、サポート窓口を多く設ける方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 採用する仕組みに応じて、適切な手法や規模のサポートを準備する必要がある。 <p>※どの事前手続方法を採用するか等による 1(1)関連</p>	
		②	コールセンター		○	○				
		③	説明会		○					
		④	専用サイト				○			
2 移行	(1) 周知から完全移行ま での期間	①	3か月			○	—	<ul style="list-style-type: none"> 移行に十分な時間をかけることが望ましい。その間に丁寧な説明を行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 採用する仕組みに応じて、適切な期間を確保する必要がある。 移行期間が長すぎても周知の効果や移行促進の効果が薄れる恐れがある。 <p>※どの事前手続方法を採用するか等による 1(1)関連</p>	
		②	6か月	○			—			
		③	9か月		○					
	(2) 移行期間の対応 （現金との併用）	①	併用あり	○	○			<ul style="list-style-type: none"> 移行時期に現金との併用を行うことはやむを得ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 移行期間に併用を認めることで、手続時期が分散することが期待できる。 移行期間に併用を認めることで、ICカード利用と比較され、口コミ等でICカードの利便性の周知が図られることが期待できる。 	
		②	併用なし			○	○			

各段階、項目ごとの手法等に関するご意見と市としての望ましい方向性

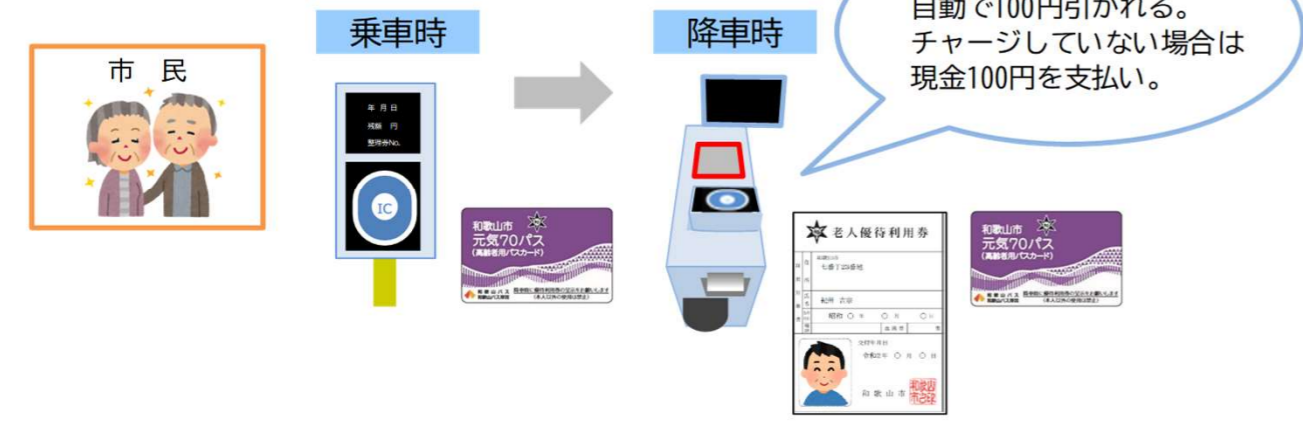
段階、項目	手法、パターン	都市名				検討会でのご意見	市としての望ましい方向性			
		和歌山	秋田	川崎	前橋					
3 カード	(1) カードの種類	① 独自カード	○				<ul style="list-style-type: none"> 既に長寿応援バスを利用している人には専用の IC カードが分かりやすいのではないか。 IC カード枚数が増えない方が良く、増えるのは負担になる。 今持っている IC カードを使いたい。 紛失した場合、記名式 IC カードであれば、再発行手数料はかかるが、残額を新しい IC カードに移行できる。 	② ③	<ul style="list-style-type: none"> 既に普及していると思われる 10 カードを有効活用することで、IC カード発行・交付に係る事務量の削減が期待できる。 	
		② (記名式) 10 カード			○	○				
		③ (無記名式) 10 カード								○
	(2) 券面デザイン	① オリジナル	○	○			<ul style="list-style-type: none"> 独自デザインの IC カードが良い。 カード枚数が増えるのは負担になるが、専用の目立つデザインの方が使いやすいのではないか。 手持ちの IC カードに資格の刻印ができるのが良い。 	②	<ul style="list-style-type: none"> オリジナルとすることで、発行に係るコストや事務量が増える恐れがある。 	
		② デザインなし				○				○
	(3) カードの有効期限、更新	① あり					<ul style="list-style-type: none"> 有効期限がない方が良い。 	②	<ul style="list-style-type: none"> 手続の簡素化の観点から、更新が必要ないことが望ましい（マイナンバーカードは更新の必要あり）。 	
② なし		○	○	○	○					
4 利用	(1) 運賃の支払	① IC カードのみ			○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> IC カード化により決済と乗降がスムーズになり、バスの乗降にかかる時間の短縮につながる。 IC カード化は利用データの取得のメリットが大きく、ダイヤの見直しにも役立つ。 現金との併用が続くと、実績の取得、施策形成にも支障が生じる。 IC カードを証明として提示して現金で払うこともでき、チャージで払うこともできるのが良い。 現金払いも可能として融通性を持たせれば、チャージしておく方が便利だと感じてチャージする人が増えるのではないかと。 	①	<ul style="list-style-type: none"> 事業の課題解決のために、乗降データを正確に把握する必要がある。 IC カード化によりバス事業者の負担軽減や新たな施策形成につなげたい。
		② IC カード + 現金支払	○							
	(2) チャージ	① バス車内	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> コンビニでチャージできるのが良い。 	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> より多くの箇所で、時間を問わずチャージできることが望ましい。 	
		② バス営業所等	○	○	○	○				
		③ コンビニ等		○	○	○				
	(3) 利用券等の書類の提示・携行	① あり	○ 提示		○ 携行		<ul style="list-style-type: none"> 利用に必要なものを忘れると割引が受けられないのが心配だ。 	②	<ul style="list-style-type: none"> 所持物を増やさないことが望ましい。 不正利用対策を別途検討する必要がある。 	
		② なし		○		○				
	(4) 他の用途（買い物等）でのカード利用	① 可能			○	○	<ul style="list-style-type: none"> 自分でチャージできる世代にはコンビニ等でも使える一本化した IC カードを使いたいという意見もあると思う。 他の用途で利用できなくても良い。 	①	<ul style="list-style-type: none"> IC カードの利便性が高いことが望ましい。 他の用途に利用できることで IC カードへの移行促進が期待できる。 	
		② 不可能	○							
	5 発展性	柔軟なメニュー設定・変更	① 可能			○	○	<ul style="list-style-type: none"> 将来的に柔軟な料金設定ができるなど、いろんな仕組みを考えることができるメリットがある。 	①	<ul style="list-style-type: none"> 事業の効果と持続可能性を向上させるため、将来的な事業の見直し（金額の変更、回数制限等）にも対応できる発展性のある仕組みとする必要がある。
② 不可能			○							

【和歌山市】 元気70パス バスカード

(1) 事前手続き



(2) 利用する



(3) 更新手続き

- ・有効期限なし（更新手続き不要）

(4) 補足情報

人口	357,668人
対象者数	89,725人
登録者数	42,494人
交付率	47.4%

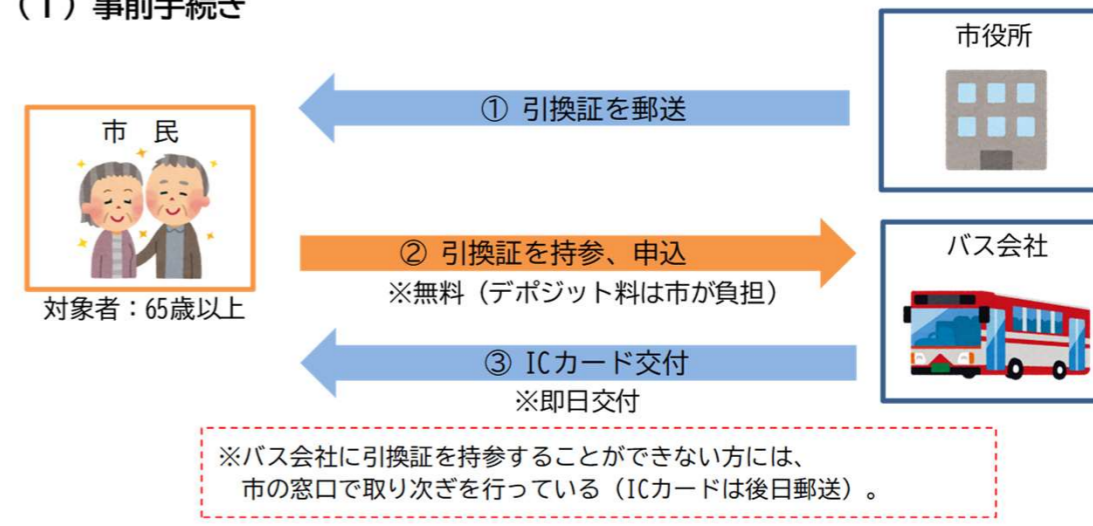
※R5年3月末日現在、対象者70歳以上

ICカード導入時期	令和2年4月
ICカードの種類	独自カード。元気70パスとしてのサービス以外の他の公共交通の決済や買い物には利用不可
チャージ	バス車内、バス会社の営業窓口等で可能（コンビニエンスストア不可）
移行期間（現金→ICカード）	6か月間（現金、ICカードいずれも利用可能）、その後完全移行
サポート体制	なし

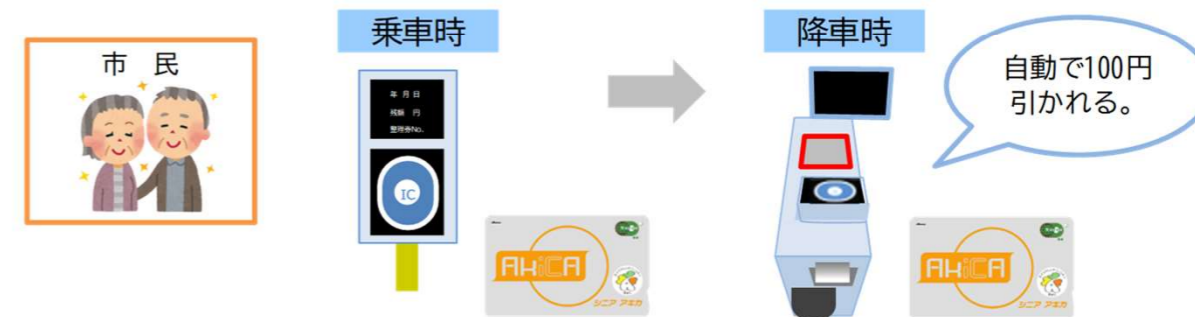
※和歌山市高齢者・地域福祉課からの聞き取りや提供資料等により大分市が作成

【秋田市】 高齢者コインバス事業

(1) 事前手続き



(2) 利用する



(3) 更新手続き

- ・有効期限なし（更新手続き不要）

(4) 補足情報

人口	299,911人
対象者数	94,458人
登録者数	63,046人
交付率	66.7%

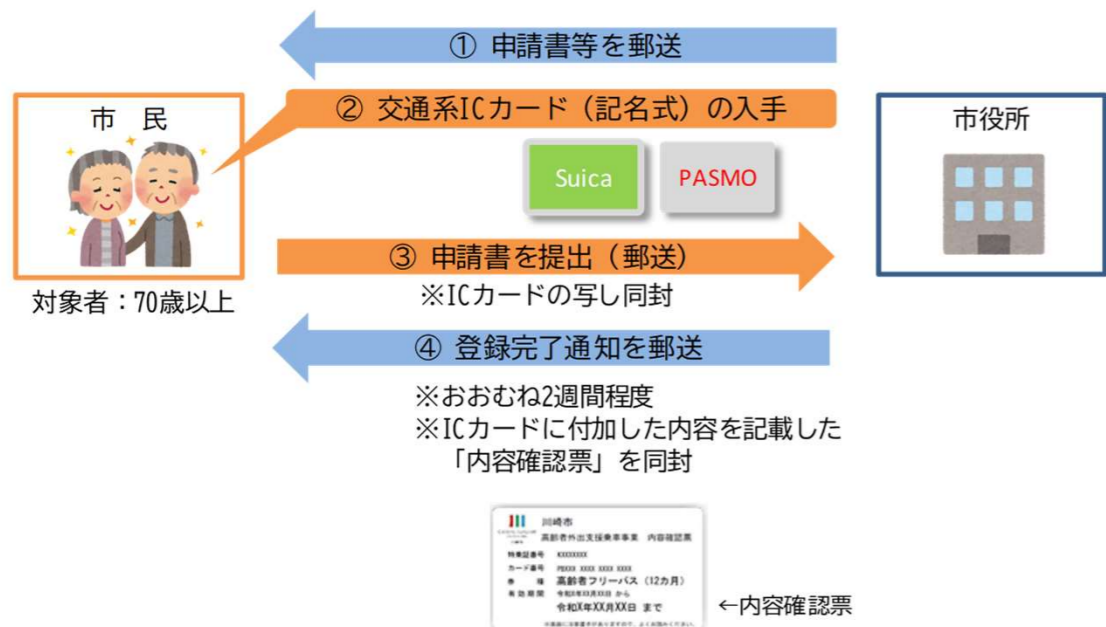
※R5年11月1日現在、対象者65歳以上

ICカード導入時期	令和4年10月
ICカードの種類	地域連携ICカード（Suicaの派生カード）「AkiCA」。Suicaの機能を搭載。全国相互利用可能な10カードとして利用可能
チャージ	バス車内、バス会社の営業窓口、コンビニエンスストア等で可能
移行期間（現金→ICカード）	6か月間（現金、ICカードいずれも利用可能）、その後完全移行
サポート体制	説明会の開催、コールセンターの設置（移行時期のみ）

※秋田市長寿福祉課からの聞き取りや提供資料等により大分市が作成

【川崎市】 高齢者外出支援乗車事業

(1) 事前手続き



(2) 利用する



(3) 更新手続き

・有効期限なし（更新手続き不要）

(4) 補足情報

人口	1,541,640人
対象者数	241,985人
登録者数	125,121人
交付率	51.7%

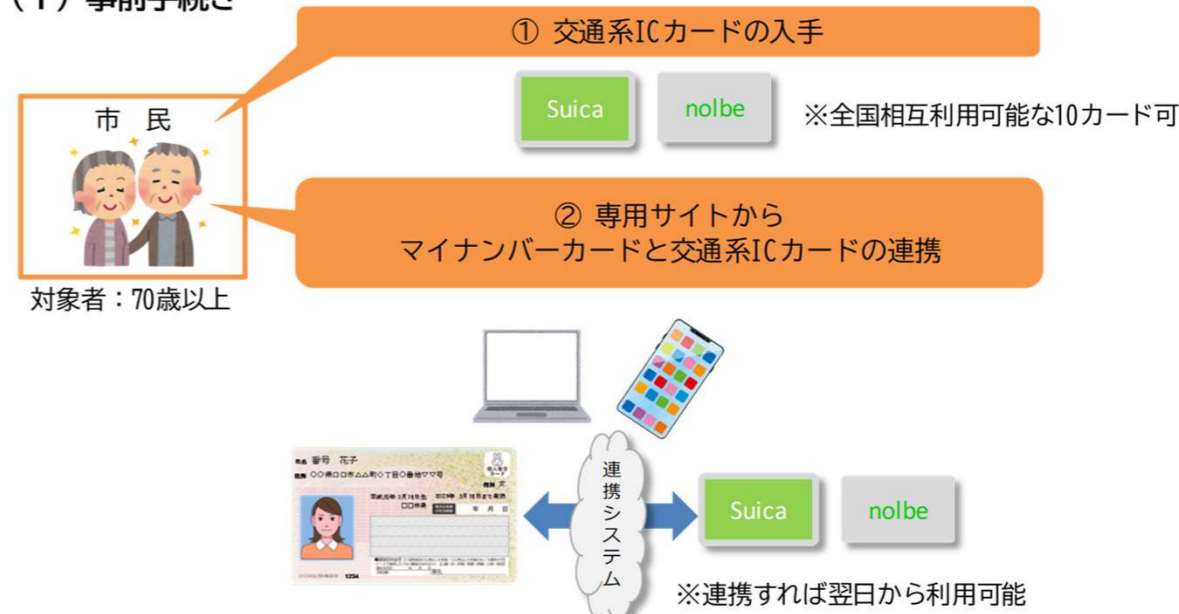
※R5年4月1日現在、対象者70歳以上

ICカード導入時期	令和4年10月
ICカードの種類	記名式のSuicaまたはPASMO。全国相互利用可能な10カードとして利用可能
チャージ	バス車内、バス会社の営業窓口、コンビニエンスストア等で可能
移行期間（現金→ICカード）	3か月間（現金とICカードの併用なし）
サポート体制	相談窓口（コールセンター）の設置（移行後も常設）

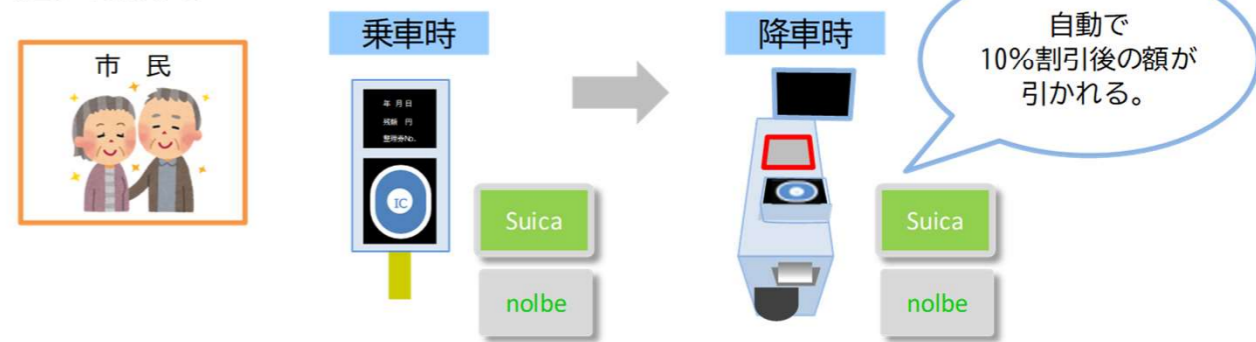
※川崎高齢者在宅サービス課からの聞き取りや提供資料等により大分市が作成

【前橋市】 マイナンバーカードをベースとした商業と交通の決済連携による地域活性化事業

(1) 事前手続き



(2) 利用する



(3) 更新手続き

・ICカードの有効期限なし ※マイナンバーカードの更新は必要

(4) 補足情報

人口	329,860人
対象者数	78,907人

※R5年12月末日現在、対象者70歳以上

実施時期	令和5年度中に事業開始予定
ICカードの種類	全国相互利用可能な10カード（無記名式・モバイルも可） 地域連携ICカード（Suicaの派生カード）「nolbe」
チャージ	バス車内、バス会社の営業窓口、コンビニエンスストア等で可能
サポート体制	担当課の窓口でサポート実施（スマホ不要で交通系ICカードとマイナンバーカードを持参すれば手続可能）
その他	公共交通機関で来た利用者に対して商店での割引サービス等を検討

※前橋市交通政策課からの聞き取りや提供資料等により大分市が作成